

平成24年度事務事業評価シート（23年度実施事業分）

事業番号	08 04 07	中期総合計画主要施策番号	2-03	担当課	部・課	農政部園芸畜産課	
事業名	畜産振興対策推進事業				内 線	3179	
					E-mail	enchiku@pref.nagano.lg.jp	
実施期間	H8 ~	根拠法令等	(独)農畜産業振興機構法 強い農業づくり交付金交付要綱 等				
実施方法	直接実施					国庫・ 県単	国庫補助事業・ 県単独事業

事業の概要等	目的 (必要性)	県内の畜産農家等が、国や畜産団体等の畜産振興施策を円滑かつ適正に実施し、より高い事業効果が発現されるよう指導することにより、畜産基盤の維持並びに経営安定を図る。
	対 象	農業団体、市町村、畜産農家等
	目指すべき姿	1 畜産基盤の強化と安定した畜産経営。 2 家畜排せつ物の適正な管理。
	事業内容	・国庫事業(強い農業づくり交付金)、農畜産業振興機構、地方競馬全国協会の補助事業を実施する事業主体に対し、事業の円滑かつ適正な執行を指導。 ・畜産農家に対し、家畜排せつ物が適正に管理されるよう定期的な巡回指導等。

事業コスト	区 分	単位	22年度	23年度	24年度(当初)	23年度事業費の主な内訳
	最終予算額 (A)	千円	3,269	3,378	2,876	・旅費968千円 ・需要費970千円 ・役務費617千円 ・使用料823千円
	決 算 額 (B)	千円	3,269	3,378		
	B(H24はA)のうち一般財源	千円	1,340	1,065	1,004	
	概 算 人件費	従事する職員数 人	1.00	1.00	1.00	
	概算事業費 (B(H24はA) + C)	概算人件費 (C) 千円	8,317	8,258	8,258	
		千円	11,586	11,636	11,134	

事業実績	成果指標・活動指標内容	単位	22年度	23年度	24年度(見込)	左記以外のH23年度実績
	畜産関係事業推進会議(活)	回	3	3	3	
	畜産環境推進会議の開催(活)	回	1	1	1	
	家畜排せつ物恒久化処理施設(成)	戸	731	687	687	
	<効率指標(単位当たりコスト等)> 家畜排せつ物の恒久化施設 数1戸当たりのコスト	千円 / 施設	16	17	16	(効果指標 算出式) 概算事業費 / 家畜排せつ物の恒久化施設数

事業の成果	事業の目標(H23)	事業成果・評価	評価区分
	家畜排せつ物処理施設の恒久施設化率 91.7% 恒久化施設整備数 687戸 管理基準適用農家数 749戸 / = 91.7%	家畜排せつ物処理施設の恒久施設化率 H21 89.6% H22 91.5% H23 91.7% 家畜排せつ物の処理施設の恒久施設化数は、畜産農家戸数の減少にともない減少しているが、恒久化施設率は、年々上昇している。	b 期待どおり

事業の課題	区 分	判 定 ・ 説 明				
	事業ニーズの変化	増加	横ばい	減少	判定の 説明	補助事業の適正な執行により畜産経営の安定に資することができた。畜産農家数の減少にともない処理施設数は減少しているものの、貴重な有機質資源である畜産排せつ物の有効活用と、畜産環境問題からも継続的に指導等が必要である。
	県の関与を見直す余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		
	事業改善(有効性・効率性)の余地	余地なし	当面余地なし	余地あり		

総合分析等	総合分析 (今後の課題、 取組方針等)	環境と調和した農業への取組が求められている中、貴重な有機質資源である畜産排せつ物を有効活用するため、今後も引き続き恒久化処理施設の整備や畜産生産基盤の整備を推進する必要がある。
	特記事項	